

あなたはしっかりと周りを見渡すことができますか。あなたの周りにいる、困っている人や人の苦しみに気づくことはできていますか。私は、「気づく」ことが大切だと考えます。しかし、これまで私は一番身近な家族の苦しみをすら気づくことができていませんでした。そんな私に「気づく」ことがどれだけ大切か教えてくれたのは私の母です。

私の母は左耳が聞こえません。生まれつきだそうです。母が台所で料理をしていて私はリビングの椅子に座っていたとき、テレビのコマーシャルで流行りの曲が流れてきました。私は母に、「お母さん、何ていう曲だっけ、この曲」と尋ねました。しかし、母から反応がなく、私は無視された、と思い「お母さんにきいとるとばい！」と大きな声で怒ったように言ってしまいました。

料理をするときには何かを焼く音、煮詰める音、水が流れる音……。様々な雑音があり、左耳の聞こえない母と私の間でこういう出来事は少なくありません。そのたびに、「左耳が聞こえないだけで、そんなに聞こえなくなるものか」と心ない言葉を言っていました。左耳が聞こえなくなるだけでそんなに変わるわけがない。そんな私の思い込みが、大きな間違いであると気づいたのは、ふと私が左耳を手でふさいで私の母と同じ状態になったときでした。私ははっとしました。まるで世界が変わったかのようなようでした。両耳が聞こえていた時よりもかなり聞こえづらくなり、雑音が大きく感じられるようになりました。クラスメイトの声、遠くで遊んでいる人の声、紙がめくれる音……。すべてが聞こえにくくなりました。私は、片方の耳が聞こえなくなるというのは、両耳が聞こえていた時の聴力が単純に半分になるだけだ。左耳が聞こえなくても、両耳が聞こえているときとあまり変わらない、と思い込んでいました。しかし、実際はそうではなく、左耳が聞こえなくなるだけで、両耳が聞こえるときと聞こえ方がかなり変わり、その不便さに驚愕しました。こんなに聞こえづらくなるのか。

みなさんも自分の左耳をふさいでみてください。多くの人がある聞こえづらさや、両耳できいていたときの聞こえ方の違いに気づくのではないのでしょうか。今は弁論をしていて静かなので、そこまで感じない人もいると思います。しかし、ショッピングモールなど雑音が多く、騒がしいところではどうでしょう。かなり変わると思います。

人は自分の感覚にとらわれています。他人の感覚をあまり知ろうとしません。実際に私もそうでした。しかし、このように人の立場にたって、その不便さや苦しみに気づくこと。この「気づくこと」が大切だと私は考えます。私はこれまで、人の苦しみに気づくことができていませんでした。左耳をふさいで、その聞こえづらさに気づいたとき、私は初めて母の苦しみに気づくことができ、母に申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。

人の苦しみに気づくこと。それ以外にも気づくことのできる場合があります。それは困っている人に気づくことです。例えば、バスや電車に乗った時に少し回りを見渡してみれば、席を必要としている人に気づくことができます。少し行動したり、意識したりすれば、多くのことに気づくことができると思います。そんな気づきが誰かの助けになるのです。どこでも、こまかいところでも気づくことを意識し、行動してみてください。そうすれば、一人一人が社会で活躍できると思います。社会にはいろんな人がいます。その中には目に見えない病をかかえている人もいます。そんな人には気づきにくいと思います。しかし、自分と違って受け入れることで社会はよりよくなると考えます。まずは「気づく」ことから始めてみませんか。